



2024年6月3日

各位

会社名 株式会社ハークスレイ  
代表者名 代表取締役会長兼社長 青木達也  
(コード番号：7561 東証スタンダード市場)  
問い合わせ先 総務部長 中野雅哉  
TEL 06 (6376) 8088

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取組み方針について

当社は、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取組み方針について、現状を分析・評価したうえで今後の企業価値向上に向けた取組み方針を策定し、本日2024年6月3日開催の取締役会において報告いたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取組み方針」をご覧ください。

以上

# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた 取組み方針

2024年6月3日

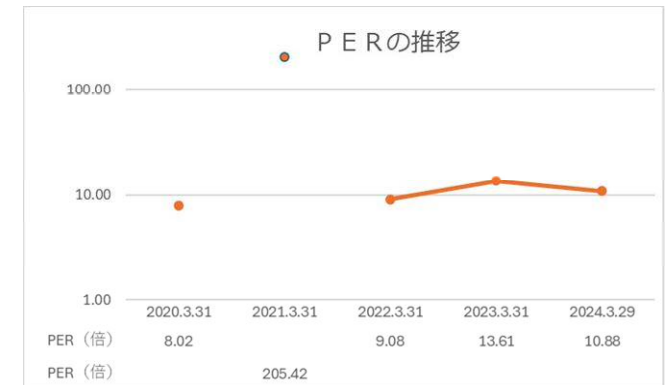
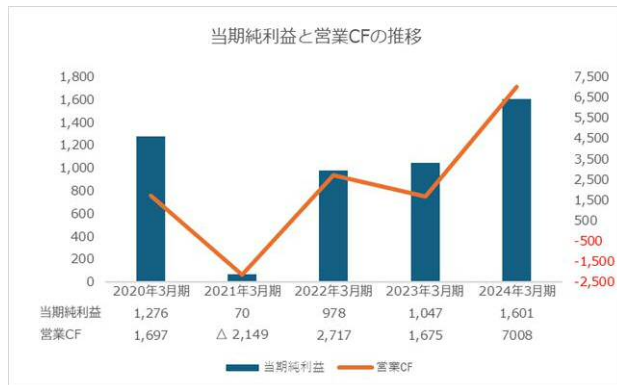
株式会社ハークスレイ

証券コード：7561  
東証スタンダード



# 現状分析と課題認識（業績、PBR、PER）

- ✓ **22年以降、事業構造変革により順調に業績が回復**し、22年より当期純利益は前年を更新中
- ✓ **営業CFは**、「税金等調整前当期純利益」21年634百万円、22年1,285百万円、23年1,453百万円、24年2,391百万円と**大幅改善**
- ✓ **PBRは**、業績改善により22年0.41倍、23年0.63倍、24年0.72倍と**改善傾向であるが**、さらなる企業価値向上を実現していくために、**中長期の成長戦略の着実な実行が重要と認識**
- ✓ **PERは**、**当社の成長性や収益性、株主還元など株式市場に対して十分な理解が得られていない**



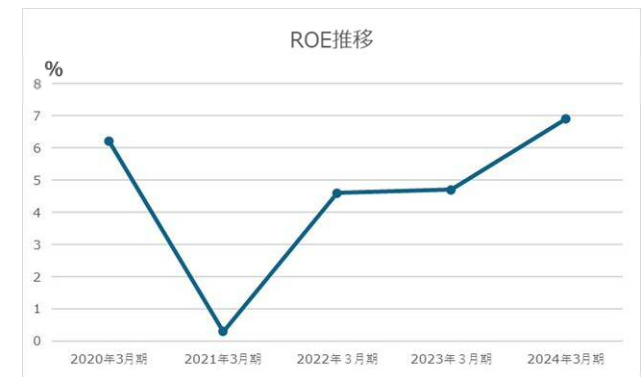
単位：百万円  
21年新型コロナウイルスによる業績への影響

# 現状分析と課題認識（ROEの分解分析）

ROEを、デュポンモデルで分解し分析してみると、

- ✓ **ROEは、PBR 1倍割れの分岐点といわれている8%を下回っているが着実に改善傾向、更なる向上が重要**
- ✓ **総資産回転率が低位で推移しており、資産効率改善が重要と認識**
- ✓ **財務レバレッジ（総資産/自己資本）は、財務の安全性からは健全性を保っており  
全業種平均（金融業除外）中央値1.9倍、小売業2.2倍に比較しても同程度**

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高純利益率	2.69%	0.29%	3.08%	2.94%	3.42%
総資産回転率	1.3	0.8	0.7	0.6	0.7
財務レバレッジ	1.7	1.8	2.2	2.6	2.7
ROE	6.2%	0.3%	4.6%	4.7%	6.8%



# 現状分析と課題認識（コーポレートアクション）

自己株式取得及び消却は、

2015年7月7日開催取締役会決議：取得株数600,000株、取得総額789百万円  
 2020年6月23日開催取締役会決議：取得株数210,000株、取得総額232百万円  
 2024年2月29日自己株式消却：消却株数3,000,000株（消却前の発行済株式総数の13.6%）

株式分割は、

2021年9月30日を基準日として、1株につき2株の割合をもって分割

株主優待制度は、

2022年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様より拡充  
[https://www.hurxley.co.jp/ir\\_infomation/benefits/](https://www.hurxley.co.jp/ir_infomation/benefits/) 参照

コーポレートアクションは  
 株式市場動向、ROE、EPSなど  
 成長の効果を見極め適時実施  
 してきた



2021年9月30日に株式分割を実施しているため  
 遡及修正後の株価、EPSとなっております。

# 取組み（収益性の向上と資産の効率化）

2024年6月3日発表の

「事業の成長と収益拡大により持続的に利益成長を実現するための中期経営目標（2028年3月期最終年度）」の実行  
[https://www.hurxley.co.jp/ir\\_info/](https://www.hurxley.co.jp/ir_info/)参照

## ◆ 中期経営目標骨子（2028年3月期最終年度）

ROE 8.3%、成長投資に中計期間4年間で178億円（M&A120、設備投資58億円）を振り向ける  
 EBITDA56億円（24年実績38億円から47.4%伸長）、EPS成長率54.8%（24年実績86.87円から134.5円）



収益性の向上（売上高純利益率 $\div$ 営業利益率）  
 M&Aによる事業構造（ポートフォリオ）変革による収益性の向上



資産の効率化（総資産回転率の向上）  
 バランスシートの資産内容の見直し、販売用不動産の在庫回転日数短縮等  
 ノンアセットビジネスの推進  
 「店舗アセット&ソリューション事業」の「店舗リース取引店舗数」、「不動産管理テナント数」の稼働店舗数向上によるストック収入増加。特定技能外国人他人材紹介事業、店舗運営事業者へのコンサルティングの成長。



キャッシュ・フロー・アロケーション	営業CF	154	億円	25年~28年の累積
	手元資金	46		
	配当	22		
	M&A	120		
	設備投資等	58		
	【資金使途計】	200		

# 取組み（資本政策、株主還元）

## ✓ 最適な資本構成

事業構造（ポートフォリオ）変革を、スピード感を持って進めるにあたり、事業特性を踏まえた最適な資本構成を検討し実行する

## ✓ 株主還元

当社の配当方針は、安定的な配当を継続することを基本方針とし、将来に向けた成長投資に利益を配分するとともに、

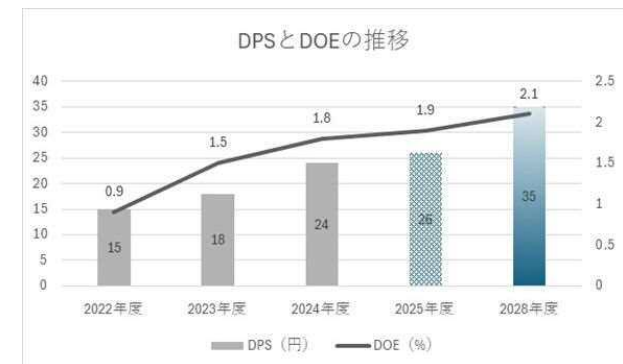
**株主の皆様への利益還元重視の姿勢をより明確にするため、  
1株当たり当期純利益の伸長に合わせ現金配当につきましては、  
前年を下回らない増配を目指してまいります。**

また、**自己株式の取得は**、資本水準や株式市場環境及びROE、1株当たり当期純利益の伸長等の効果を総合的に勘案し**機動的に実施する方針**といたします。

自己株式取得に関する取得総額や取得期間等について取締役会において決議した場合は、都度お知らせしてまいります。

**変更後の方針につきましては、2025年3月期より適用**いたします。

2024年6月3日発表「配当方針の変更に関するお知らせ」  
[https://www.hurxley.co.jp/ir\\_info/参照](https://www.hurxley.co.jp/ir_info/参照)



# 取組み（IR活動の強化）

---

- ✓ IR専任部署の強化、増員  
 大阪本社、東京本社にIR専任部署を設置、増員し、IR活動を強化  
 株主、投資家、株式市場関係者との対話を増やすとともに情報開示の充実を図る
- ✓ 情報開示（決算短信補足説明資料等）の拡充  
 株主、投資家、株式市場関係者との対話の結果、定量的、定性的情報の充実を図り市場の理解を深める  
 Web、新聞、雑誌などの媒体を通じ当社グループの良さをアピールし理解を深める  
 投資家の利便性を高めたIRサイトの継続的な見直し
- ✓ 攻めのIR  
 証券会社、機関投資家、個人投資家に積極的にアプローチ  
 マスコミ向け、決算発表時の記者会見の定例化  
 個人投資家向け説明会開催  
 アナリスト、機関投資家向け説明会開催
- ✓ 代表取締役社長、取締役会への報告  
 毎週、IR担当責任者から代表取締役会長兼社長へ対話の状況、株価動向、指標等を報告し、必要対応策を協議し実行  
 取締役会に対しては、随時報告しレビューを実施



## 免責事項

- 本資料記載の業績見通し等、将来に関する記載については、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。
- 実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性を含みます。
- 上記の要因により、本資料は当社として記載の将来の見通しについて、その実現を約束するためのものではありません。
- 本資料で提供している情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性及び公正性を保証するものではなく、当社は掲載された情報またはデータの誤りまたは不正確に関しまして、一切の責任を負うものではありませんのでご了承願います。

## IRに関するお問い合わせ先

株式会社ハークスレイ 広報IR室  
電話 06-6376-8088 (大阪本社代表)  
03-5422-1221 (東京本社代表)  
[https://www.hurxley.co.jp/ir\\_info/](https://www.hurxley.co.jp/ir_info/)  
E-mail [ir\\_info@hurxley.co.jp](mailto:ir_info@hurxley.co.jp)